

2009年1月5日

独立行政法人 国際協力機構  
理事 黒木 雅文 殿

環境社会配慮審査会  
委員長 村山 武彦

諮問第6号に対する答申について

環境社会配慮ガイドライン2.4の規定に基づき、諮問第6号「 Bangladesh 国  
ベラマラガスタービン火力発電所建設計画調査」(開発調査)のドラフトファイナ  
ルレポートについて、別紙のとおり答申いたします。

コメントの種類に応じて、答申内容を協力事業に反映するよう、お取り計らい  
下さい。

バングラデシュ国「ベラマラガスタービン火力発電所建設計画調査」

ドラフト・ファイナル・レポート

答申

上位計画における既設発電所の位置付け

1. 上位計画(Power System Mater Plan)における既存ガスタービン発電設備の位置付けについて、報告書に記載することが望ましい。

洪水被害

2. 新設発電所の建設時や建設後の洪水に備えて、被災民の避難場所が発電所以外に確保できるかどうか確認しておくことが望ましい。

排水の影響

3. 零細漁業及び河川生態系への影響に対して、温排水をモニタリングするとともに、地域住民窓口の設置等について検討する必要がある。
4. ハーディング橋の下で漁業によって生計を立てている世帯数を把握し、当該世帯の生計に対する影響の有無を明らかにすることが望ましい。

地下水

5. 地下水調査と地下水解析の結果について、専門家の意見を聴取し、その内容を報告書に記載することが望ましい。
6. 井戸の掘り増しを行う場合は、その井戸の水質を検査し砒素の濃度を確認すること、並びに運転開始後、定期的に周辺井戸の水質をモニタリングすることが望ましい。

情報の整理

7. 周辺住民の教育水準について、表現を修正することが望ましい。
8. 評価項目のうち、「Accident(事故)」は社会環境項目に、「Global warming(温暖化)」は自然環境項目に整理することが望ましい。
9. 以下の事項について、報告書に追記すること。
  - (1) 発生が予測される廃棄物の種類と発生量
  - (2) 冷却塔ブロー水排水の予測される量と水温、水質基準
  - (3) 農作物補償の対象となる世帯数とその規模、補償内容
  - (4) 影響範囲内における浅井戸の本数と関係住民の数